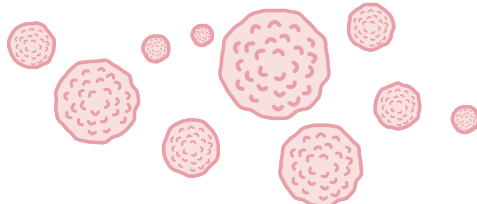


子宮頸がんは予防する方法があります

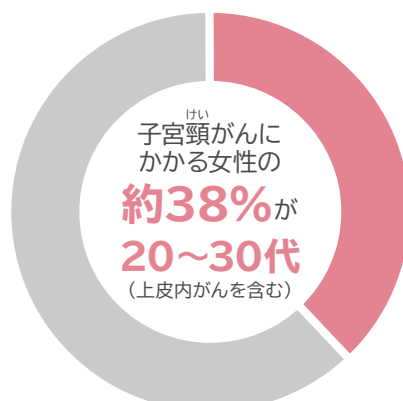
子宮頸がんは主にHPV(ヒトパピローマウイルス)という
ありふれたウイルスの感染が原因です



子宮頸がんは毎年約10,000人の女性が新たに罹患し、
年間の死亡者数は約2,900人です

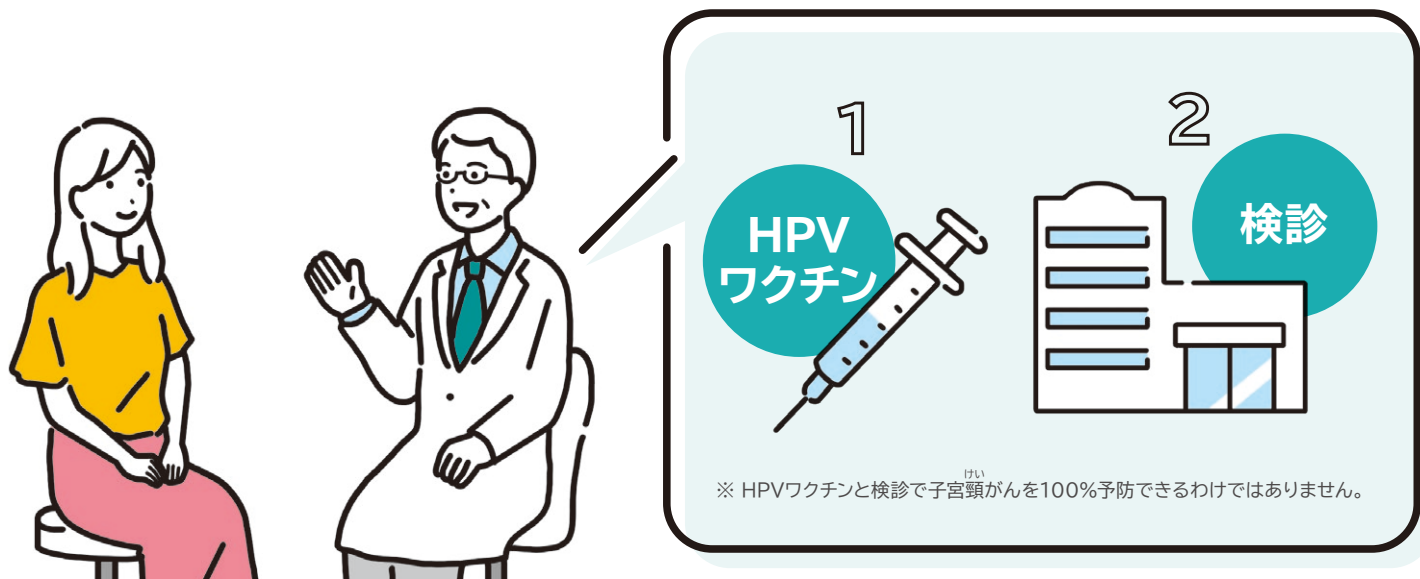


子宮頸がんは20~30代でも罹患する可能性のあるがんです



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録) 全国がん罹患データ(2016年~2021年)

子宮頸^{けい}がんの予防には ワクチンと定期的な検診の2つが大切です



2025年度のHPVワクチン公費助成(原則自己負担なし)対象者

定期接種対象者

- 小学校6年生～高校1年生相当の女子
(今年度12歳～16歳になる2009年4月2日～2014年4月1生まれの方)

経過措置対象者

以下の条件を両方満たす方

- 今年度17歳～28歳になる方 (1997年4月2日～2009年4月1生まれの方)
- 2022年4月1日～2025年3月31日までに1回以上接種している方

2025年度に高校1年生相当の女子 および **経過措置対象の方** は
2026年3月31日まで 残りの接種を公費で受けることが可能です

ただし、期限を過ぎても任意接種(全額自己負担)で接種することは可能です

**接種時の年齢やワクチンの種類により
2回もしくは3回の接種を完了させる必要があります**

- HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。
- 標準的なスケジュールでは6カ月で接種完了となります。接種スケジュールなど、詳しくは医師にご相談ください。